

第2回 情報化施工実技講習会を行いました。（平成26年7月16日）

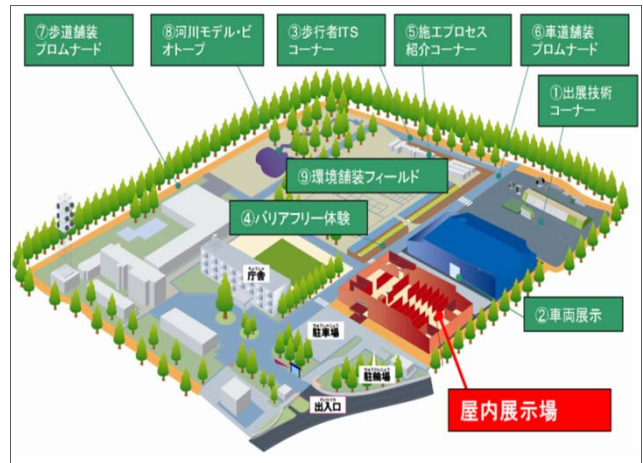
主に国及び自治体の技術者を対象とした情報化施工の実技講習会を建設技術展示館で行いました。

当日は、47名の方々が参加されました。午前中は、主に座学による情報化施工の知識を習得して頂き、午後は、実技と体験を中心としたプログラムで行いました。

- | | | |
|--------|----------------------------------------------|-------------|
| 1 講習月日 | : 平成26年7月16日（水） | 10:00～16:30 |
| 2 場所 | : 国土交通省関東地方整備局 関東技術事務所 建設技術展示館 | |
| 3 受講者 | : 国及び自治体職員、公益法人、建設会社 | 計47名 |
| 4 協力団体 | : 西尾レントオール株式会社、福井コンピュータ株式会社
株式会社ニコン・トリンプル | |



建設技術展示館



関東技術事務所鳥瞰図

午前中の座学



主催者代表挨拶

要旨：情報化施工は、知識と使い方を理解したうえでないと効果がでない。また、実際に使い、検証し、しっかりPDCAサイクルを回していくことが重要。



情報化施工について

要旨：①情報化施工推進戦略、②情報化施工の必要性と効果、③自治体事業（工事）における情報化施工の効果等。



マシンコントロール・マシンガイダンスについて



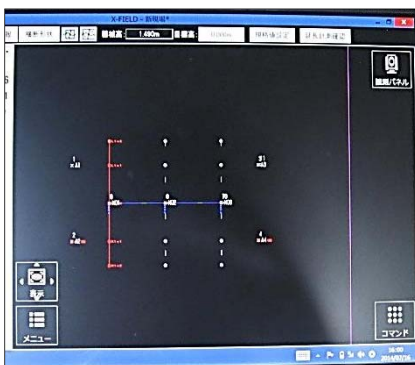
TS (トータルステーション) を用いた出来形管理について

午後の実技・体験

TS(トータルステーション)を使った出来形管理の実技



盛土を模したTS実技会場



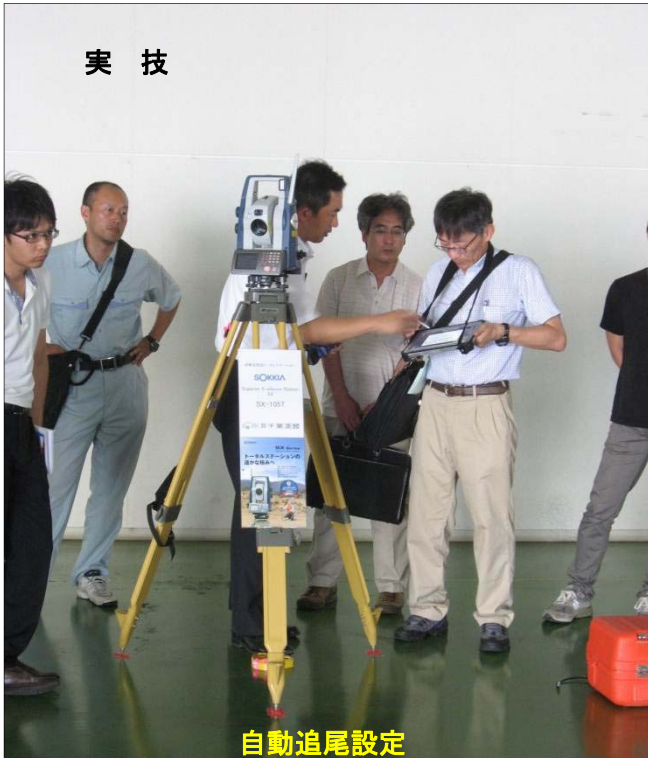
TS入力データの説明映像

実技会場のTSデータの
入力の仕方、測定の仕方
を説明



TS入力データの説明

実技



自動追尾設定

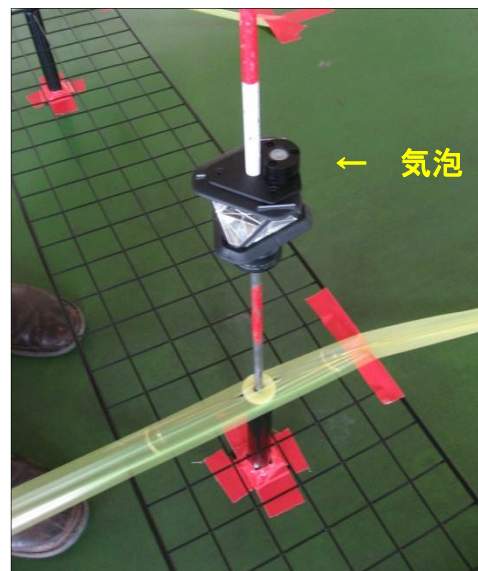
TSの反射プリズムに自動追尾機能で光波測量



モニターにより反射プリズム確認



反射プリズムの気泡を見ながら水平取り



反射プリズム

【TSを使った出来形管理の実技についての受講者の感想】

- ・TS出木形管理技術の一連の流れがつかめたため有意義だった。
- ・発注者側の理解と監督、検査体制を整えることが必要。中小企業であってもコスト以上のメリットが見込める。
- ・データ整理や帳票整理など効率が上がると実感した。

アスファルト密度測定器－PQIの実技



PQI を用いた実技



PQI の操作



PQI

【アスファルト密度測定器－PQIの実技についての受講者の感想】

- ・非破壊で計測できて役に立つ。(コアの代わりに使えたらなお、良い)
- ・橋面舗装時の参考値として使える。

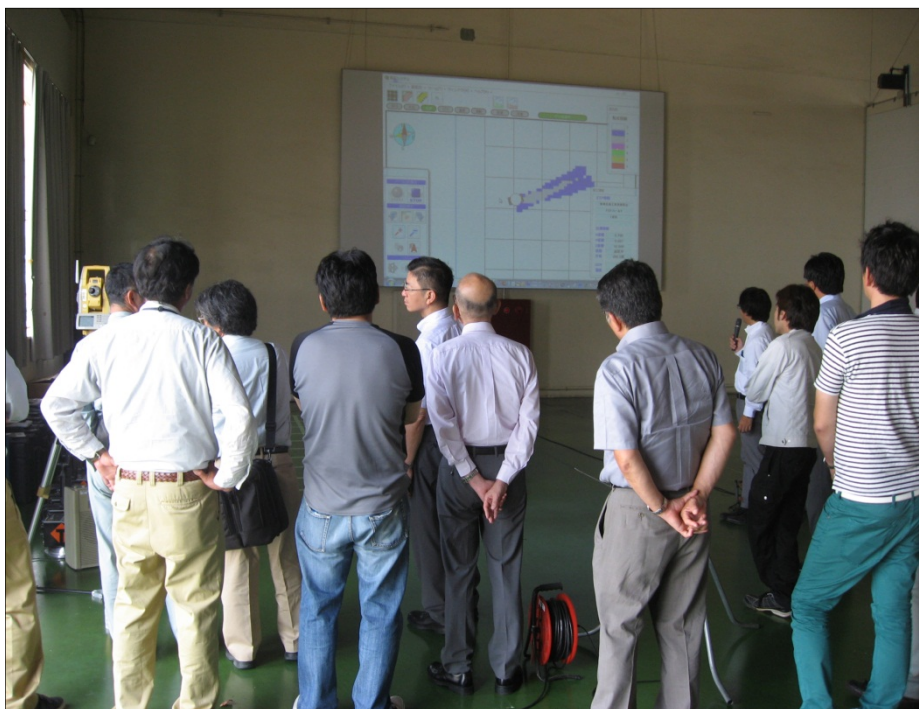
締固め回数管理システムの体験



締固め回数管理を模した会場



コントローラによる操作



模型を使った体験



締固め回数の映像



車載機（実機）

【締固め回数管理システム体験についての受講者の感想】

・簡単でだいたい理解できた。・

2Dマシンガイダンス体験



【2Dマシンガイダンス体験についての受講者の感想】

・現場で使える技術。